

平成18年度  
医療従事者の給与に関するネット調査  
調査結果報告書  
(平成18年7月～8月調査実施)

平成19年1月  
社団法人 全日本病院協会  
医療従事者委員会

## 目 次

まえがき.....	2
I 調査目的.....	3
II 調査方法.....	5
1. 調査対象.....	6
2. 調査時期.....	6
3. 回収状況.....	6
4. 集計結果の表記.....	7
5. 異常値の処理.....	9
III 調査結果.....	10
1. 給与体系.....	11
2. 職種別給与体系の有無.....	12
3. 常勤者の職種別給与改定.....	14
4. 常勤者の給与実態.....	16
5. 職種別、経験年数別平均収入.....	19
6. 非常勤者の給与実態.....	20
7. 15年度調査との比較.....	22
資料編	
1. 調査票.....	23
2. 医療従事者委員会 委員名簿.....	37

まえがき

平成18年度の診療報酬改定により民間病院の経営が一層厳しい局面に立たされることになりました。会員の皆様方においても収入と支出のバランスに苦慮されている病院が数多くあると推察いたします。「コスト削減」が声高に言われる様になって、かなりの年月が経ちましたが、その中での病院の人件費は重要な部分を占めていることは疑いの余地がありません。その中で病院団体として会員病院の人件費の実態をきちんとしたデータとして蓄積し社会に公表していく必要性が無視できない段階に入ったと考えられます。自院の給与体系をデータとして提出していただくことに抵抗感を持たれる会員の方もおられると思いますし、データをまとめることもそれなりに時間と労力のいることだと思われませんが、医療費削減の嵐の中で、会員病院の給与実態を社会に知ってもらう為にもデータベースの構築は大変意味があることと考えられます。

平成18年度より電子媒体による給与アンケート集計を開始しました。まだ会員の皆様に給与アンケートの意義が周知されていないこともあり、残念ながらまだ十分な数のデータが集まるまでいっていませんが、慶応大学の池上教授の御協力を得て18年度の給与アンケートの集計が出来上がりました。会員の皆様方の今後の一層の御協力をお願いするとともに、経営指針の一助にいただければ幸甚です。

平成19年2月

医療従事者委員会

委員長 大橋 正實

## I 調査目的

---

## I. 調査目的

本調査は、医療従事者の職種別給与の実態について調査を行った。具体的には、給与体系の整備状況、平成17年度の給与改訂の実態、経験年数、職種別の年収等の実態把握することを目的に調査を実施した。これらを通じて、社団法人全日本病院協会の各会員に対する状況提供を目指したものである。

平成18年度調査より、調査票をエクセルデータ化し、電子メールによる対応が可能になった。また、空欄箇所や選択問題で間違った値を入力すると警告が出るよう工夫を行った。

集計・分析にあたっては、病院所在地による違いを明らかにすることに主眼をおき、全国を「北海道・東北」「関東甲信越」「東海・近畿」「中国・四国」「九州」の5ブロックに分け、分析を行った。

## II 調査方法

---

## II 調査方法

### 1. 調査対象

社団法人全日本病院協会会員全体 2187 病院に協力を依頼し、了解いただいた 338 病院にメールを媒体として調査を実施。

### 2. 調査時期

平成 18 年 7 月～8 月末

### 3. 回収状況

#### (1) 有効回答数

メールアドレスを登録した 338 病院のうち、96 病院回答。回収率 28.4%

#### (2) 回答した病院の属性を、会員全体 2187 病院（内）と比較

##### ①病床区分別病院数・平均病床数、200 床未満・以上別

病床区分	200 床未満 (67 病院)		200 床以上 (29 病院)	
	施設数	平均病床数	施設数	平均病床数
一般病床	33	66.3	19	255.6
医療療養病床	13	46.5	15	95.1
介護療養病床	23	63.8	7	159.3
精神科病床	1	36.0	5	471.0
結核・感染症病床	1	2.0	1	32.0
合計施設数と、 平均病床数	71	42.9	47	202.6

回答数 96 病院のうち、病床区分は複数回答。

##### ②全日病会員病院全体における 200 床以上、未満の比較

病床数	200 床以上	200 床以下	有効回答数
今回の調査回答数 (96 病院)	30%	70%	100%
全日病会員病院全体 (2187 病院)	25%	75%	100%

回答数 96 病院、会員総数を 100%とする。

(会員総数は調査を実施した 8 月末時点での数)

③全日病会員病院全体におけるブロック別の比較

ブロック	全会員割合 (%)	有効回答数 (%)
北海道・東北	18%	16%
関東甲信越	21%	23%
東海・近畿	22%	20%
中国・四国	21%	14%
九州	19%	28%
合計	100%	100%

回答数 96 病院、会員総数を 100%とする。

(会員総数は調査を実施した 8 月末時点での数)

4. 分析ならびに集計結果の表記について

各設問の集計にあたっては、病院所在地をブロック別に集計結果を把握することを目指した。

結果の検討にあたって、病床規模の違いに着目し 200 床以上、未満に分けた分析を行った。全体の回答をグラフにし、また各職種別は表で表した。

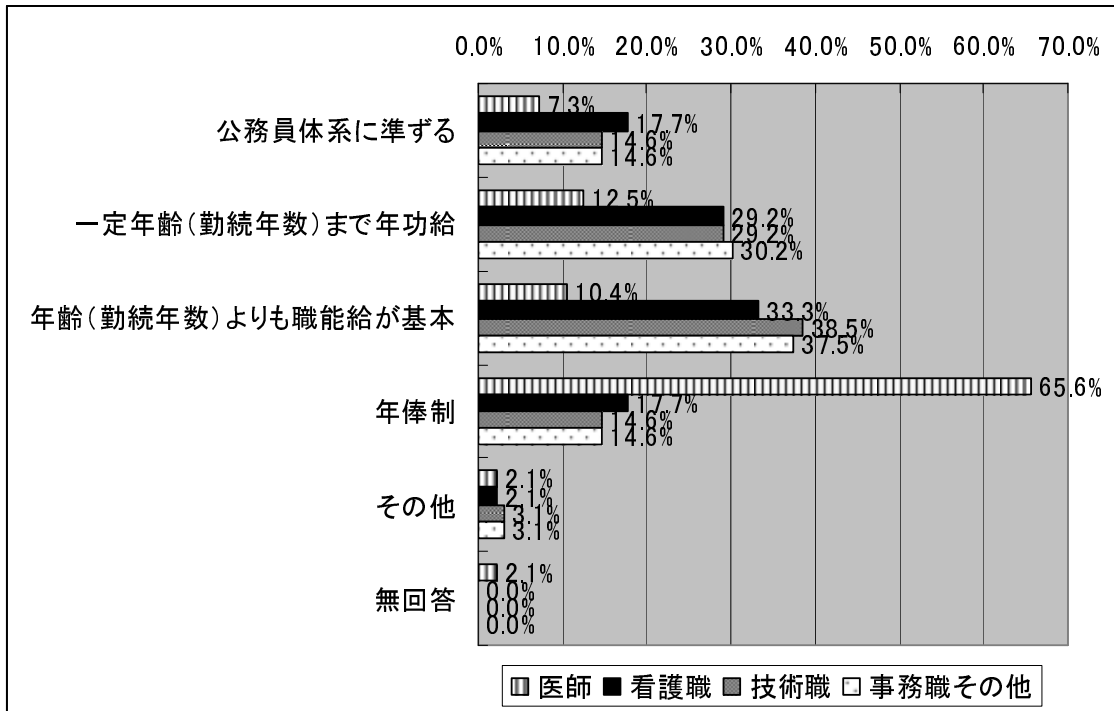
なお、本報告書の中では、集計結果が全体の結果と違いがある場合のみコメントしている。

ブロック別集計の対象都道府県

ブロック	対象都道府県
北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
関東甲信越	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県
東海・近畿	富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
中国・四国	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県



集計表例・グラフ



集計表例・各職種別

職種別給与体系の有無	回答病院数	%
明確なものはない		
一応はあるが弾力的に対応している		
あって遵守している		
その他		
無回答		
合計		

## 5. 異常値処理について

各調査項目のうち数値記入を求めた設問については、異常値処理の観点から以下の対応を行った。

数値記入を求めた質問は、回答値上下 2.5%を集計対象外として分析。

回答の少なかった設問箇所を除外。

設問	問題	処理
Ⅱ. A)	平成 17 年の常勤者の給与実態	年額記載と思われる数値が散見されたため、データ補正を行った上で分析した。 ※補正ルール: 記入値をもとに中央値を算出し、その 12 倍以上の値については、12 分の 1 を再入力の上集計した。
Ⅱ. B)	職種別、経験年数別 1 人当たりの平均年収	上記同様の方法にて補正。
Ⅲ.	非常勤者（常勤嘱託を含む）の給与実態	上記同様の方法にて補正。

注：設問番号は資料編参照。

### Ⅲ 調査結果

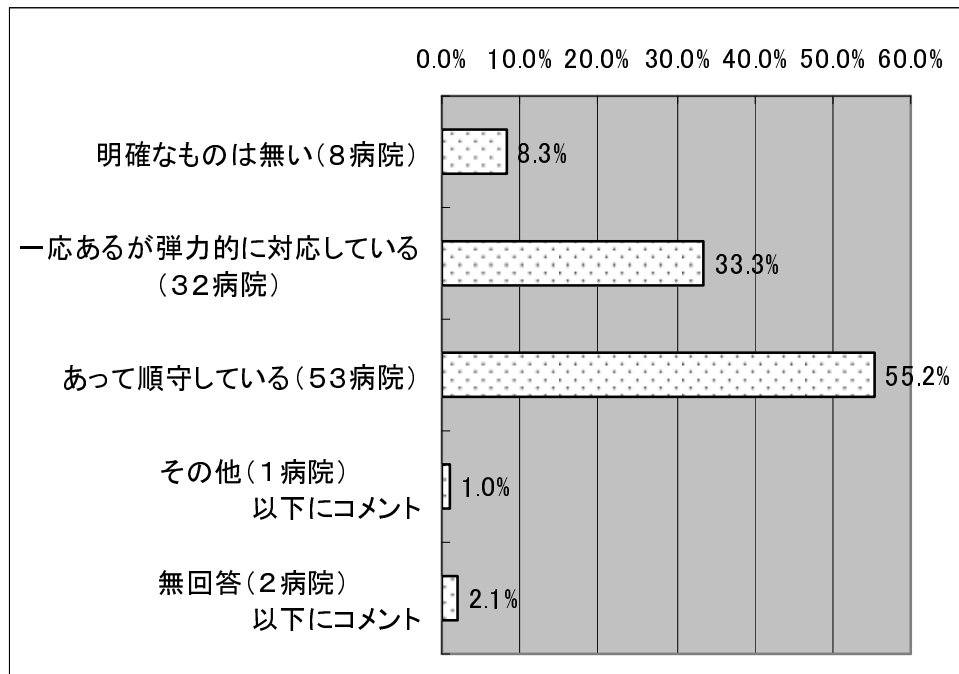
---

### Ⅲ 調査結果

#### 1. 給与体系

問 貴院には職種別の給与体系はありますか。

図表Ⅱ－1 給与体系の有無



職種別給与体系の有無	回答病院数	%
明確なものはない	8	8.3%
一応はあるが弾力的に対応している	32	33.3%
あって遵守している	53	55.2%
その他	1	1.0%
無回答	2	2.1%
合計	96 病院	100%

その他（1病院）・・・医師と医師以外に区別している。

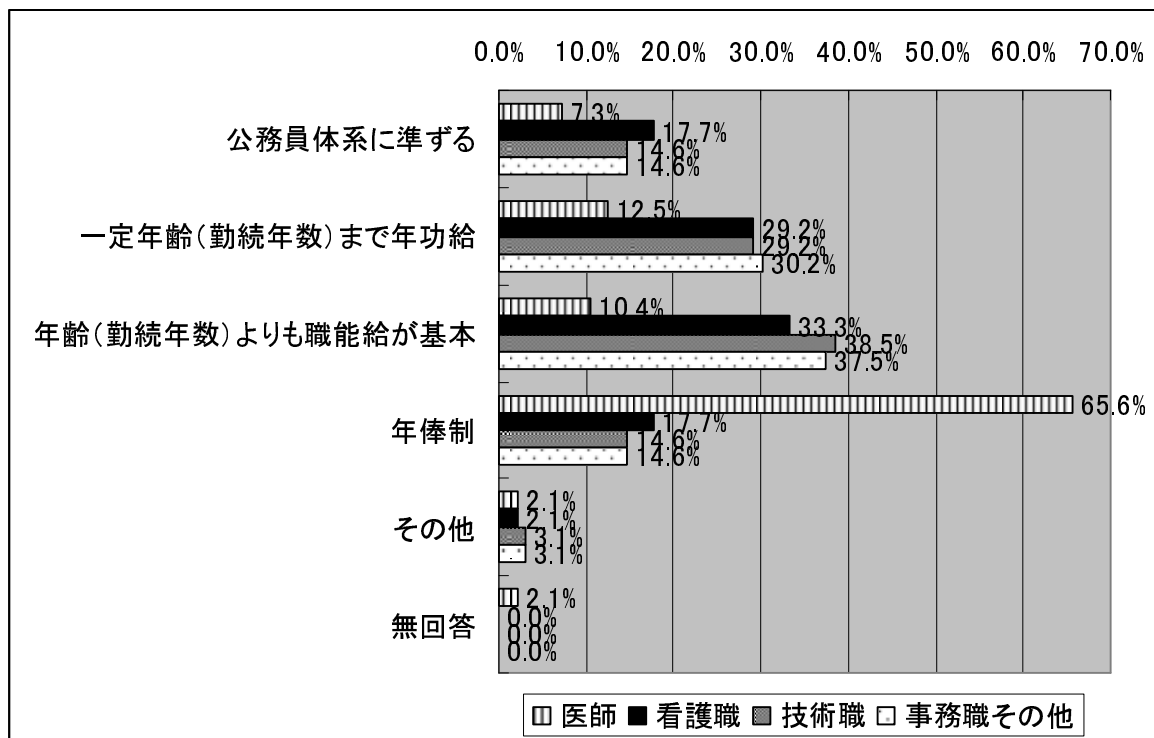
無回答（2病院）・・・転職者（特に看護師）が多いので、転職してくる前の給与との差がある場合に苦勞する。

- ・職種により順守する場合と弾力的に対応せざるを得ない場合があります。

2. 職種別給与体系の有無

問 平成17年度の給与体系について、職種別にお答えください。

図表Ⅱ－2 職種別給与体系の有無



\*調査に協力した96病院全てが回答。

①医師

給与体系	回答病院数	%
公務員体系に準ずる	7	7.3%
一定年齢(勤続年数)まで年功給	12	12.5%
年齢(勤続年数)よりも職能給が基本	10	10.4%
年俸制	63	65.6%
その他	2	2.1%
無回答	2	2.1%
合計	96病院	100%

②看護職

給与体系	回答病院数	%
公務員体系に準ずる	17	17.7%
一定年齢（勤務年数）まで年功給	28	29.2%
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	32	33.3%
年棒制	17	17.7%
その他	2	2.1%
無回答	0	0.0%
合 計	96 病院	100%

③技術職

給与体系	回答病院数	%
公務員体系に準ずる	14	14.6%
一定年齢（勤務年数）まで年功給	28	29.2%
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	37	38.5%
年棒制	14	14.6%
その他	3	3.1%
無回答	0	0.0%
合 計	96 病院	100%

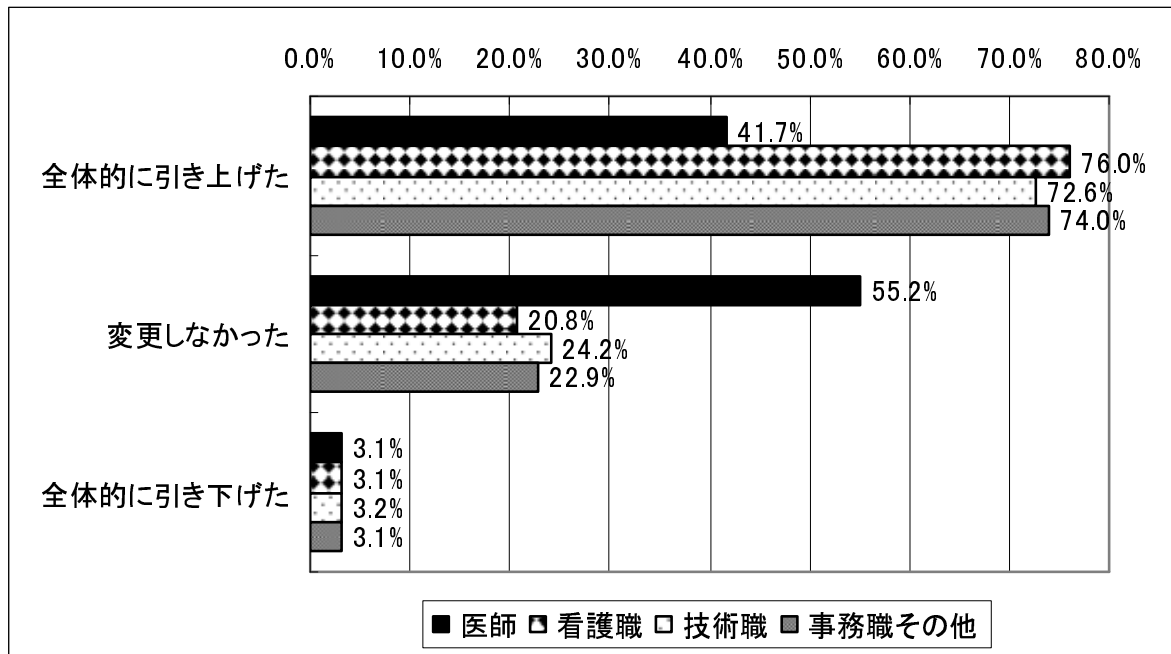
④事務職その他

給与体系	回答病院数	%
公務員体系に準ずる	14	14.6%
一定年齢（勤務年数）まで年功給	29	30.2%
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	36	37.5%
年棒制	14	14.6%
その他	3	3.1%
無回答	0	0.0%
合 計	96 病院	100%

### 3. 常勤者の職種別給与改定

問 貴院の平成17年度における常勤在職者の給与改定についてお伺いします。

図表Ⅱ－3 職種別給与改定



\*前年度、基準出勤日数の8割以上勤務し、給与改定後も引き続き在職している職員のみを対象とした。

#### ①医師

給与改定	回答病院数	%
全体的に引き上げた	40	41.7%
変更しなかった	53	55.2%
全体的に引き下げた	3	3.1%
合計	96 病院	100%

②看護職

給与改定	回答病院数	%
全体的に引き上げた	73	76.0%
変更しなかった	20	20.8%
全体的に引き下げた	3	3.1%
合 計	96 病院	100%

③技術職

給与改定	回答病院数	%
全体的に引き上げた	69	72.6%
変更しなかった	23	24.2%
全体的に引き下げた	3	3.2%
無回答	1	1.0%
合 計	96 病院	100%

④事務職その他

給与改定	回答病院数	%
全体的に引き上げた	71	74.0%
変更しなかった	22	22.9%
全体的に引き下げた	3	3.1%
合 計	96 病院	100%



4. 常勤者の給与実態

問 平成17年の常勤者の給与実態についてお伺いします。

(1) 職種・地域別年間平均総支給額

図表Ⅱ－４（１） 職種・地域別年間平均総支給額

(単位：円)

職種	北海道・東北 (17)	関東甲信越 (20)	東海・近畿 (21)	中国・四国 (20)	九州(18)	全国平均
医師	15,551,414	18,752,632	15,286,221	18,344,651	14,945,860	16,713,068
看護師	4,499,288	5,083,784	5,106,767	4,215,294	4,147,159	4,615,849
准看護師	4,266,172	4,737,053	4,634,990	3,847,846	3,464,233	4,200,730
看護助手・ 介護職	2,897,154	2,948,158	2,952,487	2,681,369	2,522,393	2,802,607
技術職	4,709,875	4,854,047	4,754,198	4,335,269	4,418,278	4,611,914
事務その他	3,592,604	3,901,826	3,798,152	3,247,866	3,284,428	3,567,030

\*上下2.5%の値をはずれ値として除外して計算し、以下も同様に処理。

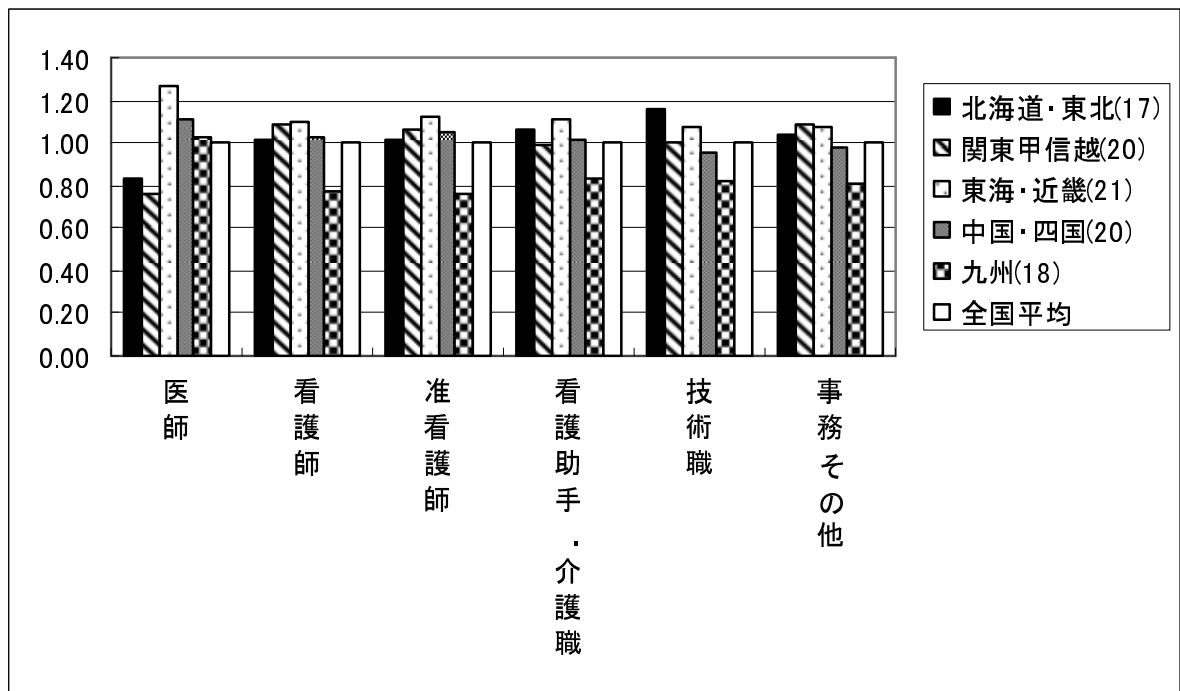
ブロック別の（）内は該当ブロックの回答病院数。

96病院のうち、回答数は各職種によって異なり、医師、看護師（88病院）、准看護師（84病院）、看護助手・介護職（85病院）、技術職、事務その他（87病院）

(2) 職種・地域別平均総支給額比

図表Ⅱ－４を職種・地域別で比較。

図表Ⅱ－４ (2) 職種・地域別平均総支給額比



\* 全国平均を1 (基準) とする。

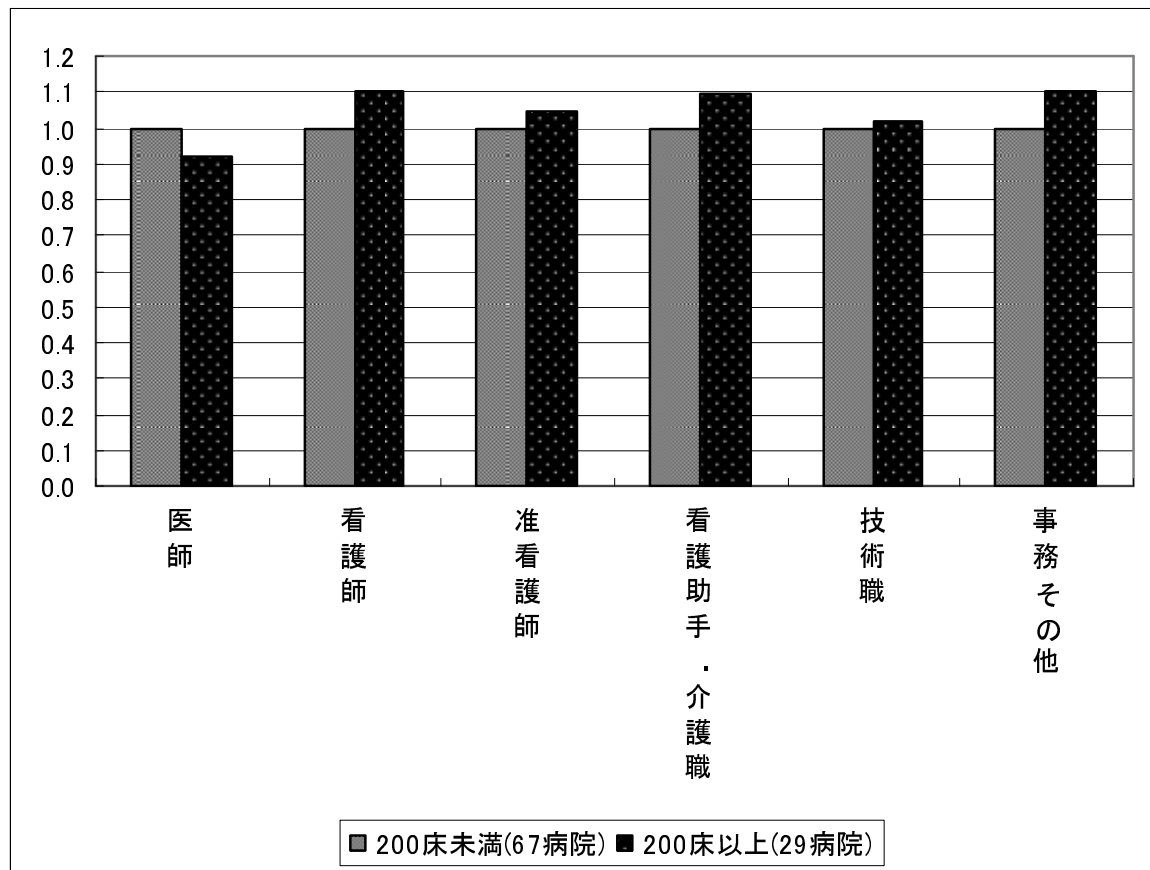
ブロック別の ( ) 内は該当ブロックの回答病院数。

96 病院のうち、回答数は各職種によって異なり、医師、看護師 (88 病院)、准看護師 (84 病院)、看護助手・介護職 (85 病院)、技術職、事務その他 (87 病院)

(3) 職種・病床規模別平均総支給額比

図表Ⅱ－４を職種・病床規模別で比較。

図表Ⅱ－４（３） 職種・病床規模別平均総支給額比



\* 200床未満を1（基準）とし、200床以上を対比

職種	200床未満（67病院）	200床以上（29病院）
医師	17,127,191	15,725,543
看護師	4,482,272	4,939,518
准看護師	4,145,726	4,340,533
看護助手・介護職	2,727,343	2,986,252
技術職	4,589,547	4,665,249
事務その他	3,460,909	3,820,089

5. 職種別、経験年数別平均収入

問 職種別、経験年数別 1 人当たり平均年収について伺います。

図表Ⅱ－5 職種別、経験年数別 1 人当たり平均年収

(単位：円)

職種	勤続 3 年		勤続 10 年		勤続 25～30 年	
医師	10,331,462	(1.0)	14,667,662	(1.42)	18,413,705	(1.78)
看護師	4,193,683	(1.0)	4,750,667	(1.13)	5,660,264	(1.35)
准看護師	3,449,600	(1.0)	4,081,478	(1.18)	4,881,611	(1.42)
看護助手・介護職	2,705,312	(1.0)	3,044,762	(1.13)	3,534,853	(1.31)
薬剤師	4,037,581	(1.0)	4,890,651	(1.21)	6,444,352	(1.60)
P T ・ O T ・ S T	3,885,152	(1.0)	4,662,221	(1.20)	6,037,386	(1.55)
放射線技師	3,979,273	(1.0)	4,917,099	(1.24)	6,541,506	(1.64)
臨床検査技師	3,456,455	(1.0)	4,192,500	(1.21)	5,767,246	(1.67)
管理栄養士	3,213,690	(1.0)	3,953,783	(1.23)	5,166,234	(1.61)
事務・その他	2,962,256	(1.0)	3,636,107	(1.23)	5,035,891	(1.70)

\* 医師は免許取得後年数で、そのほかの職種で中途採用者は貴院の職歴に換算して記入。

( ) 内は勤続 3 年を基準として経験年数での比較を表示した。

また該当者がいない場合は近似額また想定額を記入。

院長、研修医、歯科医、看護部長、事務長を除外、左記に含まれない職種は事務職として分類。

6. 非常勤者の給与実態

問 非常勤者（常勤嘱託を含む）の給与実態について伺います。

図表Ⅱ－6（1） 非常勤者職種別支給額（2交代の場合）

（単位：円）

職種	区分	最低額の平均	最高額の平均
医師	半日	34,638	63,738
	全日	59,283	94,510
	当直	43,388	55,237
看護師	日勤	9,781	13,131
	夜勤	23,608	27,467
准看護師	日勤	8,148	11,760
	夜勤	18,696	21,646
看護助手・介護職	日勤	4,588	7,805
	夜勤	14,200	16,755

\*1回あたりの支給額で記入。

96病院のうち、回答数は各職種によって異なり、医師（76）、看護師（37病院）、  
准看護師（35病院）、看護助手・介護職（26病院）

図表Ⅱ－6（2） 非常勤者職種別支給額（3交代の場合）

（単位：円）

職種	区分	最低額の平均	最高額の平均
看護師	日勤	8,878	13,852
	準夜勤	10,947	14,291
	深夜勤	13,671	17,343
准看護師	日勤	6,786	11,955
	準夜勤	8,331	11,706
	深夜勤	9,136	13,141
看護助手・介護職	日勤	6,130	9,673
	準夜勤	6,310	7,267
	深夜勤	8,040	8,824

\*1回あたりの支給額で記入。

96病院のうち、回答数は各職種によって異なり、看護師（15）、准看護師（13）、看護助手・介護職（12）

## 7. 1 5年度調査との比較

- ・ 職種別給与体系は明確なものがあって順守していると回答した病院が、1/3 から1/2 に増加した。
- ・ 医師以外の職種の年功給が、2/3 から1/2 に増加傾向があった。
- ・ 医師以外の職種の平均改定額は全体的に引上げとなった。  
2/5 から3/4 に引上げ。
- ・ 勤続3年と30年の格差
  - 医師：1.68→1.78
  - 看護師：1.48→1.36
  - 看護助手・介護職：1.44→1.31
  - 事務職：1.73→1.70
- ・ 本当の変化？調査対象となった病院の違いか？
  - 同じ調査対象をフォローする必要

## 資料編

---



医療従事者の給与に関するアンケート

該当する項目の数字をご記入下さい。  
 《お願い》 ご回答いただける範囲で結構ですので、最後までご記入をお願いいたします。  
 法人全体ではなく、病院の職員数等のみの数を記入下さい。

i. 貴院の正式名称・所在地・記入者名をご記入ください。  
 (集計の際には、除かせていただきます)

所在地	北海道	(都道府県のみ選択して下さい)
病院名		
記入者名		
部署(課)		
TEL		
FAX		

ii. 病床についてご記入ください(該当病床がない場合にはゼロをご記入ください)

一般病床		許可病床数		床
療養病床	医療保険療養病床	許可病床数		床
	介護保険療養病床	許可病床数		床
精神病床		許可病床数		床
結核病床		許可病床数		床
感染症病床		許可病床数		床
許可病床数の合計				0床

iii. 今後貴院が目指していく中心的な病床・病棟機能(何に特化するか)はどれですか。  
 該当欄に1を記入して下さい。

1. 一般病床	回答	
2. 医療保険療養病床	回答	
3. 介護保険療養病床	回答	
4. 精神病床	回答	
5. 感染症棟	回答	
6. 結核病棟	回答	

iv. 貴院の標ぼう診療科名の該当欄に1を記入して下さい。

1. 内科	回答
2. 呼吸器科	回答
3. 消化器科（胃腸科）	回答
4. 循環器科	回答
5. 小児科	回答
6. 精神科	回答
7. 神経科	回答
8. 神経内科	回答
9. 心療内科	回答
10. アレルギー科	回答
11. リウマチ科	回答
12. 外科	回答
13. 整形外科	回答
14. 形成外科	回答
15. 美容外科	回答
16. 脳神経外科	回答
17. 呼吸器外科	回答
18. 心臓血管外科	回答
19. 小児外科	回答
20. 産婦人科	回答
21. 産科	回答
22. 婦人科	回答
23. 眼科	回答
24. 耳鼻咽喉科	回答
25. 気管食道科	回答
26. 皮膚科	回答
27. 泌尿器科	回答
28. 性病科	回答
29. こう門科	回答
30. リハビリテーション科	回答
31. 放射線科	回答
32. 麻酔科	回答
33. 歯科	回答
34. 矯正歯科	回答
35. 小児歯科	回答
36. 歯科口腔外科	回答
37. 他にあれば右記欄にご記入下さい（例：老人科等）	

I. 常勤者の給与についてお伺いします。

(A) 貴院には職種別の給与体系はありますか。

1. 明確なものはない
2. 一応はあるが弾力的に対応している
3. あって順守している
4. その他

(以下にお考えをご記入ください。)

回答

(A-2)

上記設問(1)で「1. 明確なものはない」と回答した病院/施設にお伺いします。  
今後、給与体系を作成したいとお考えですか。

1. はい
2. いいえ

回答

(B) 平成17年度の給与体系について伺います。職種別にお答え下さい。  
(あてはまるもの1つを記入)

① 医師 ※理事長、院長、歯科医師、研修医を除外

1. 公務員体系に準ずる
2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は)
3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本
4. 年俸制
5. その他

(以下にお考えをご記入ください。)

選択肢

年齢

\*2を選択の場合のみ

②看護職 ※看護部長を除外

1. 公務員体系に準ずる
2. 一定年齢（勤続年数）まで年功給（その年齢は）
3. 年齢（勤続年数）よりも職能給が基本
4. その他  
（以下にお考えをご記入ください。）

選択肢   
年齢  \* 2 を選択の場合のみ

③技術職 ※下記注意書き参照

1. 公務員体系に準ずる
2. 一定年齢（勤続年数）まで年功給（その年齢は）
3. 年齢（勤続年数）よりも職能給が基本
4. その他  
（以下にお考えをご記入ください。）

選択肢   
年齢  \* 2 を選択の場合のみ

※医師、看護師を除く医療有資格者（放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師、PT、OT等）

④事務職その他 ※事務長を除外、また、上記に含まれない職種は事務職として分類

1. 公務員体系に準ずる
2. 一定年齢（勤続年数）まで年功給（その年齢は）
3. 年齢（勤続年数）よりも職能給が基本
4. その他  
（以下にお考えをご記入ください。）

選択肢   
年齢  \* 2 を選択の場合のみ

(C) 将来的にはどのような給与体系にしたいとお考えですか。  
また、設問中「3. 年齢（勤続年数）よりも・・・」または「4. 年俸制」を選択  
した場合は、予定されている年を記入して下さい。

① 医師 ※理事長、院長、歯科医師、研修医を除外

1. 公務員体系に準ずる
2. 一定年齢（勤続年数）まで年功給（その年齢は）
3. 年齢（勤続年数）よりも職能給が基本
4. 年俸制
5. その他

（以下の欄にお考えをご記入ください。）

選択肢

- \* 2の場合  才
- \* 3の場合 西暦  年より開始
- \* 4の場合 西暦  年より開始

② 医師以外の職員

1. 公務員体系に準ずる
2. 一定年齢（勤続年数）まで年功給（その年齢は）
3. 年齢（勤続年数）よりも職能給が基本
4. 年俸制
5. その他

（以下の欄にお考えをご記入ください。）

選択肢

- \* 2の場合  才
- \* 3の場合 西暦  年より開始
- \* 4の場合 西暦  年より開始

(D) 貴院の平成17年度における常勤在職者の給与改定についてお伺いします。  
改定した場合（「1. 全体的に引き上げた」もしくは「3. 全体的に引き下げた」）  
には、平均改定額（＝定期昇給＋ペアまたはベースダウンに相当）を1人当たり  
月額でお答え下さい。  
※前年度、基準出勤日数の8割以上勤務し、給与改定後も引き続き在職している職員  
のみを対象としてください。

① 医師 ※理事長、院長、歯科医師、研修医を除外

1. 全体的に引き上げた
2. 変更しなかった
3. 全体的に引き下げた

選択肢   
1または3の場合の1人当たり平均月額  円

② 看護職 ※看護部長を除外

1. 全体的に引き上げた
2. 変更しなかった
3. 全体的に引き下げた

選択肢   
1または3の場合の1人当たり平均月額  円

③ 技術職（薬剤師、PT等） \* 医療関連有資格者

1. 全体的に引き上げた
2. 変更しなかった
3. 全体的に引き下げた

選択肢   
1または3の場合の1人当たり平均月額  円

④ 事務職その他 \* 事務長を除外、また、上記に含まれない職種は事務職として分類

1. 全体的に引き上げた
2. 変更しなかった
3. 全体的に引き下げた

選択肢   
1または3の場合の1人当たり平均月額  円

II. 平成17年の常勤者の給与実態についてお伺いします。  
 A) 職種別人数、平均年齢、および1人当たりの年間の勤務日数、本俸（基本給）、諸手当、賞与、総支給額の平均値を記入してください。  
 年俸制の場合は総支給額の欄に記入して下さい。

※法定福利費、退職給与引当金（またはこれに相当する保険掛け金など）を除外  
 ※年の中途就職・退職、および出産・育児・介護休暇の職員は除いて下さい。  
 ※総支給額は社会保険料算定の対象となる金額で計算して下さい。  
 ※有給は差し引かないで計算して下さい。  
 1) 理事長、院長、歯科医師、研修医を除外、2) 看護部長を除外、  
 3) 医療関連有資格者  
 4) 事務長を除外、また、上記に含まれない職種は事務職として分類

医師1)	人数(人)			人
	平均年齢(才)			才
	年間勤務日数(日)			日
	年間一人 当たり平均	①本俸(千円)		千円
		②諸手当(千円)		千円
③賞与(千円)			千円	
総支給額 (①+②+③)			0千円	
看護師	人数(人)			人
	平均年齢(才)			才
	年間勤務日数(日)			日
	年間一人 当たり平均	①本俸(千円)		千円
		②諸手当(千円)		千円
③賞与(千円)			千円	
総支給額 (①+②+③)			0千円	
准看護師	人数(人)			人
	平均年齢(才)			才
	年間勤務日数(日)			日
	年間一人 当たり平均	①本俸(千円)		千円
		②諸手当(千円)		千円
③賞与(千円)			千円	
総支給額 (①+②+③)			0千円	
看護助手・介護職	人数(人)			人
	平均年齢(才)			才
	年間勤務日数(日)			日
	年間一人 当たり平均	①本俸(千円)		千円
		②諸手当(千円)		千円
③賞与(千円)			千円	
総支給額 (①+②+③)			0千円	
技術職3)	人数(人)			人
	平均年齢(才)			才
	年間勤務日数(日)			日
	年間一人 当たり平均	①本俸(千円)		千円
		②諸手当(千円)		千円
③賞与(千円)			千円	
総支給額 (①+②+③)			0千円	
事務その他4)	人数(人)			人
	平均年齢(才)			才
	年間勤務日数(日)			日
	年間一人 当たり平均	①本俸(千円)		千円
		②諸手当(千円)		千円
③賞与(千円)			千円	
総支給額 (①+②+③)			0千円	

B) 職種別、経験年数別 1人当たり平均年収についてうかがいます。医師は免許取得後年数で、そのほかの職種で中途採用者は貴院の職歴に換算して下さい。貴院に該当者がいない場合には近似額また想定額を記入して下さい。

- 1) 院長・研修医・歯科医を除外
- 2) 看護部長を除外
- 3) 事務長を除外、また、上記に含まれない職種は事務職として分類

一人当たり平均年収	医師	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	看護師	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	准看護師	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	看護助手 ・介護職	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	薬剤師	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	PT・OT ・ST	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	放射線技師	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
	臨床検査技師	職歴3年		千円
		職歴10年		千円
		職歴25～30年		千円
管理栄養士	職歴3年		千円	
	職歴10年		千円	
	職歴25～30年		千円	
事務・ その他3)	職歴3年		千円	
	職歴10年		千円	
	職歴25～30年		千円	



Ⅲ. 非常勤者（常勤嘱託を含む）の給与実態についてお伺いします。  
 非常勤者（常勤嘱託を含む）1回当たりの当該病院としての支給額について職種ごとの最高額・最低額と年齢をお答え下さい。  
 非常勤者が一人の場合は最高額の欄に記入して下さい。医師については担当する診療科名を下記の診療科番号を用いてご記入下さい。

※支給額＝諸手当すべて含めた総額として記入して下さい。

※平日のみに限ります。

※二交代制・三交代制の場合はそれぞれの欄にご記入ください。

<診療科番号>

- |                |          |              |            |            |            |
|----------------|----------|--------------|------------|------------|------------|
| 1. 内科          | 2. 呼吸器科  | 3. 消化器科（胃腸科） | 4. 循環器科    | 5. 小児科     | 6. 精神科     |
| 7. 神経科         | 8. 神経内科  | 9. 診療内科      | 10. アレルギー科 | 11. 整形外科   | 12. 形成外科   |
| 13. リウマチ科      | 14. 外科   | 15. 美容外科     | 16. 脳神経外科  | 17. 呼吸器外科  | 18. 心臓血管外科 |
| 19. 小児外科       | 20. 産婦人科 | 21. 産科       | 22. 婦人科    | 23. 眼科     | 24. 耳鼻咽喉科  |
| 25. 皮膚科        | 26. 泌尿器科 | 27. 性病科      | 28. 小児歯科   | 29. 矯正歯科   | 30. 小児歯科   |
| 31. リハビリテーション科 | 32. 放射線科 | 33. 麻酔科      | 34. 歯科     | 35. 歯科口腔外科 | 36. 歯科口腔外科 |
| 37. 矯正歯科       | 38. 小児歯科 | 39. 歯科口腔外科   | 40. その他    |            |            |

※それぞれ時間帯が妥当だと思われる非常勤者をモデルに1回当たり支給額（1日）を記入してください。

医師	最高額	半日	1回当たり支給額	円
			年齢	番
			診療科番号	番
		全日	1回当たり支給額	円
			年齢	番
			診療科番号	番
	当直	1回当たり支給額	円	
		年齢	番	
		診療科番号	番	
	最低額	半日	1回当たり支給額	円
			年齢	番
			診療科番号	番
全日		1回当たり支給額	円	
		年齢	番	
		診療科番号	番	
当直	1回当たり支給額	円		
	年齢	番		
	診療科番号	番		

二交代制の場合

看護師	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
最低額	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
准看護師	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
最低額	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
看護助手・介護職	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
最低額	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
薬剤師	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円
最低額	夜勤	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	円

三交代制の場合

看護師	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
	最低額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
准看護師	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
	最低額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
看護助手・介護職	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
	最低額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
薬剤師	最高額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円
	最低額	日勤	1回当たり支給額	円
			年齢	
		準夜勤	1回当たり支給額	円

IV. 職員の定着状況についてお伺いします。  
 平成17年12月末現在の職種別職員数（育児・介護休暇等取得者は除く）の人数、  
 および平成17年1月1日から平成17年12月末日までの1年間の新規採用者数と  
 退職者数を常勤・非常勤それぞれについてお答え下さい。  
 ※大学からの派遣医の交代は医師の欄に含めてご回答下さい。

①常勤職員について

常 勤 職 員	12月末職員数	医師(研修医を除く)		人
		医師(研修医)		人
		看護師		人
		准看護師		人
		看護助手・介護職		人
		医療関連有資格者		人
		事務・その他		人
	新規採用者数	医師(研修医を除く)		人
		医師(研修医)		人
		看護師		人
		准看護師		人
		看護助手・介護職		人
		医療関連有資格者		人
		事務・その他		人
	退職者数	医師(研修医を除く)		人
		医師(研修医)		人
		看護師		人
		准看護師		人
		看護助手・介護職		人
		医療関連有資格者		人
		事務・その他		人

②非常勤職員について

非 常 勤 職 員	12月末職員数	医師(研修医を除く)		人
		医師(研修医)		人
		看護師		人
		准看護師		人
		看護助手・介護職		人
		医療関連有資格者		人
		事務・その他		人
	新規採用者数	医師(研修医を除く)		人
		医師(研修医)		人
		看護師		人
		准看護師		人
		看護助手・介護職		人
		医療関連有資格者		人
		事務・その他		人
	退職者数	医師(研修医を除く)		人
		医師(研修医)		人
		看護師		人
		准看護師		人
		看護助手・介護職		人
		医療関連有資格者		人
		事務・その他		人

V. 貴院の収益状況

A) 平成17年度の医業収入÷医業費用の割合を記入して下さい。介護保険給付分(介護報酬)を含めた全体額をもとに、パーセントの小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで記入して下さい。なお、ここで対象となる収入と費用は調査対象となっている病院についてのものとしてください(法人全体額ではありません)。

医業収入 ÷ 医業費用 =

B) 貴院において平成17年度が通常の年と異なったこと(改築、一部閉鎖等)があればその概要をご記入下さい。

[ ]

最後に、記入漏れがないかどうか、下のチェックボタンを押してご確認ください。  
設問箇所の未記入のもののみ、「(例)FS2 値が未入力です」というようなエラーが出、  
回答箇所が赤くなります。  
全問にご回答いただいた場合は、何も起こりませんのでご注意ください。

※使用できない方…マクロのセキュリティ設定を変更してください。

変更仕方

メニューバーの「ツール(T)」⇒「マクロ(M)」⇒「セキュリティ(S)」⇒  
「セキュリティレベル」を「中(M)」にする。⇒ファイルをいったん閉じる⇒  
ファイル開く⇒「セキュリティ警告」ウインドウが出る⇒「マクロを有効にする」の  
ボタンを押す。

(上記の方法でも出来ない場合はお手数ですが、アンケート返送の際、お知らせ下さい。)

チェックボタン！

## 医療従事者委員会 委員名簿

委員長	大橋 正實	医療法人 耳鼻咽喉科麻生病院	理事長
委員	川島 周	医療法人 川島会 川島病院	理事長
”	織田 正道	特定医療法人祐愛会 織田病院	理事長
”	仁科 盛之	財団法人 三友堂病院	理事長
外部委員	池上 直己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室	教授
”	伊藤 公一	伊藤病院	院長
”	高橋 礼子	財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院	
”	野口 寿美代	医療法人清和会 長田病院	法人事務部長
”	白木 一正	医療法人 萬田記念病院	事務長
”	大沢 正行	医療法人社団永生会 永生病院	事務局長付
会長	佐々 英達	特別医療法人社団時正会 佐々総合病院	理事長
総括副会長	安藤 高朗	医療法人社団永生会 永生病院	理事長